

やりがい、いきがい。たかがい!



たかがい 恵美子

2010

2

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

7

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

PROFILE

看護師・保健師

前 日本看護協会常任理事
自民党参議院比例区支部長
1963年12月21日生 宮城県出身

- 学歴
 - 1982年 古川女子高等学校衛生看護科 卒業
 - 1984年 埼玉県立衛生短期大学 卒業
 - 1985年 埼玉県立衛生短期大学専攻科 修了
 - 1989年 国立公衆衛生院専攻課程 修業
 - 1993年 東京医科歯科大学 医学部保健衛生学科 卒業
 - 1995年 東京医科歯科大学大学院 医学系研究科博士課程前期 修了
 - 1996年 WHOエイズコントロールケア研修 修了
 - 1997年 東京医科歯科大学大学院 医学系研究科博士課程後期 中退

- 主な職歴
 - 急性期医療 社会保険埼玉中央病院、虎ノ門病院
 - 地域保健 宮城県の保健所、精神保健福祉センター
 - 研究教育 ㈱東京都老人総合研究所客員研究員、結核予防会結核研究所研究員、東京医科歯科大学医学部学内講師
 - 中央省庁 厚生労働省 看護技官
 - 国際保健協力 中央アフリカ共和国でHIV感染の予防教育と感染者ケアを行うNGOに参加

やりがい、いきがい。たかがい!

～成熟社会を創る看護力～

未来を創る会通信 No.01

たかがい 恵美子のめざす社会

たかがい 恵美子が取り組む 3つの重点課題

1 だいじな

健康を増進し、福祉を充実させます。

子を産みたいと思い、安心して育てることのできる社会環境づくりを進めます。自らの健康に興味を持ち、生活の楽しさを実感できる地域づくりを進めます。納得して人生を全うできる確かな社会保障づくりを進めます。



土井病院(兵庫県)にて▶

2 みらい

安心して安全に働ける社会をめざします。

生涯を通じて経済活動に参加できる労働環境づくりを進めます。豊かな食文化のための環境づくりを進めます。国際社会でより多くの人材が活躍できる環境づくりを進めます。



▲保健師時代に知り合った伊藤さんと再会(宮城県)

3 つくりたい!

おもいやりと感謝の心を育む教育と環境をつくりまします。

思考、情操、発想、創造性を豊かにする教育体系づくりを進めます。安全で質の高い医療提供ができる人材育成を進めます。自然と共生し、いのち・暮らしに優しい環境・社会づくりを進めます。



▲古賀総合病院保育所「抱っこ」(宮城県)にて

「たかがい 恵美子と未来を創る会」のご案内

あなたも、たかがい 恵美子と一緒に未来を創っていきませんか?
「たかがい 恵美子と未来を創る会」発行のメールマガジンを送信させていただきます。
メッセージや役に立つ情報を無料でお送りします。詳しくは下記オフィシャルサイトまたはお電話で。
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 TEL:03-3486-3463 URL:www.takagai-emiko.net E-mail:info@takagai-emiko.net



いのち**に真剣**に向かい合うからこそ、見える**未来**がある

たかがい**えみこ**のめざす社会

誰も経験したことのない時代

私の挑戦の動機、これ極めてシンプルです。“人の生きる力を守るプロ”＝看護師として、どのように困難な時代にあっても、そこに暮らす国民のための**社会保障**を実現する使命を果たすためです。

これからの20年は、これまでの20年と明らかに違います。いま私たちは、誰も経験したことのない時代に突入しつつあります。**総人口が減り、働き手の割合が減り、産まれる子どもはもっと減る**。そのなかで**高齢化**がますます進みます。

今年生まれた子どもが高校生になる頃には、**国民の3人に1人が65歳以上**となっています。そのときにどんな社会を用意しなければならないのか。いのちのそばで常に生きる力を支えている**看護職はすでに気づいています**。

国民のための
社会保障を実現する



ハートフルマキノ デイサービスセンター (滋賀県)にて



医療法人社団栄宏会 土井病院(兵庫県)の皆さんと



日本看護連盟総会後の決起大会で 南野参議院議員とかたい握手



訪問看護ステーションみやこ(沖縄県)のスタッフの皆さんとの意見交換会



日本看護協会の通常総会終了後、参議院出馬を表明会場からは大きな拍手が



豊科ふれあいホール 長野県看護連盟安曇支部集會にて



日本訪問看護振興財団立 あすか山訪問看護ステーションの皆さんと



愛泉会日南病院重心病棟(宮崎県)にて

秋田県看護連盟 秋田臨海・第一支部集會でスピーチ

愛する人と居心地の良い街で、自分らしく生きるために

今、どの病院にも認知症の方がいらっやいます。10年後、20年後は、この姿が皆さまの住まいのそばで普通に見られるようになります。この時、**看護の知恵と技術**が社会があれば、認知症高齢者にとっても、**穏やかに過ごす**ことができる**コミュニティー**を創れるのではないのでしょうか。しかし、もし今のままだったとしたら、認知症の方は社会から排除されてしまうかもしれません。

今、亡くなる方のほとんどは病院のベッドの上で最期の時を過ごします。これが20年後は、**住み慣れたわが家**で看取られるようになるでしょう。**愛する人と居心地の良い街で、自分らしく**生き、生き終えたいという願いは、誰にとっても共通の切なる願いです。しかし、今のままでは、ひとりきりで誰にも看取られることなく息を引きとる方も多くなってしまおうでしょう。

これからの時代、**死を穏やかに受け入れる社会づくり**に看護の知恵と技術が必要なのです。

看護の現場で起こっていること、悩んでいること、こうなりたいと願っていること。そうした中こそ、未来に向けて、整えていくべき**保障のしくみ**が芽生えています。

居心地の良い
場所で最期まで

働くことを楽しい
と思える社会

人の生きる力を
守るプロとして

看護職だからこそできる社会づくり

だからこそ、私は看護職がもつ知恵と技術を社会に伝え、これからの社会保障のしくみをより確かなものへと充実させ、**人を大切に**する社会、**働くことを楽しいと思える社会**、**明日に希望がもてる社会**づくりを進めていきたいのです。

人を大切に
する社会

私、たかがい恵美子は、社会保障制度の危機に対し、“人の生きる力を守るプロ”としての使命を全うします。

明日に希望が
もてる社会

たかがい恵美子さんを応援します



たかがいさんは、弱きを助け強きをくじく姉御肌、その一方出会った人をやさしく取り込んでしまう包容力のある方。看護師としての実践を踏まえた真面目な研究者、と同時にいつもチャレンジ精神を漲らせている行動派でもあります。きっと国政の場でも凛と胸を張って超高齢社会に貢献する看護師たちの代表として活躍できる方に違いありません。

そんな、たかがいさんを、これからの社会保障制度の改革の一翼を担う大舞台に押し上げ、世界に先駆けた豊かで活力ある長寿社会を実現するために働いてもらおうではありませんか。

是非たくさんの方々がこの活動に参加して下さることを願っております。

たかがい恵美子と未来を創る会
会長 清水 嘉与子